

評価の結果に対する対応方針

(事前評価)

3. 業務用建築の省エネルギー性能に係る総合的評価手法及び設計手法に関する研究

評価結果を踏まえ、設計建設運用に係る多種多様な専門家や異なるニーズをもった建物所有者居住者にとって、理解可能で活用可能な知見としてまとめる点が重要であるとの認識のもとに研究を進めてまいりたい。又、開発技術については既存建物にも適用可能なものが少なくないので、既存建物に係るガイドラインについての取りまとめること、省エネ計画及び設計における建物使用形態に配慮した評価法及び設計法の開発を行うこと、関係機関との連携を取りつつ進めることを念頭におきながら研究を実施してまいりたい。

その他ご指摘いただいた事項につきましても、十分に留意し研究を進めて参りたい。

4. 人口減少期における都市・地域の将来像アセスメントの研究

評価結果を踏まえ、内外の既往の研究成果やその応用や改良などの動向を収集分析し、これらとの連携に配慮して研究開発にあたって参りたい。また、社会経済環境など都市・地域をめぐる外部条件の変化も考慮しつつ、自治体がデータを入手加工して評価できうるような、利用しやすい技術の構築をめざして研究開発に取り組んで参りたい。

その他、ご指摘いただいた具体の事項については、十分に念頭に置いた上で今後研究を進めて参りたい。

5. 地域特性に応じた住宅施策の効果計測手法の開発

評価結果を踏まえ、地方公共団体が実施する多様な住宅施策のタイプを系統的に分類し、施策タイプに応じた適切なアウトカム指標の設定による効果計測手法について研究を進めるとともに、定量的な指標による効果計測が難しい施策については、定性的な効果計測が実施できる手法についても研究を進めて参りたい。その際、施策を評価する多様な視点について十分考慮するとともに、同一の施策タイプでも地域によって効果が異なる場合の制度詳細や地域的背景について検討し、住宅施策の効果に係る知識の体系化をめざして研究を進めて参りたい。

その他ご指摘いただいた事項については、十分に念頭に置いた上で、研究を進めて参りたい。